

サイエンス・
エデュケーション・
スペシャリスト (SESSs)

その養成と役割

Science Education Specialists (SESSs): How They are Trained and What Their Role is

2019年3月3日(日) 10:00 - 12:00

東北大学青葉山キャンパス 青葉山コモンズ1階 ラーニングコモンズ

物理学、化学、生命科学、地球惑星科学、工学などの科学・技術分野において、「専門分野に根ざした教育研究 (Discipline-Based Education Research: DBER)」が、北米を中心に急速に発展しています。DBERによる教育実践は、各分野の特性と学習科学の知見に基づき、これまでの受動的講義とテストの組み合わせではない新しい教育方法、教材、評価方法を開発し、授業で実践するものであり、学習効果を測定したところ、学生に高い学習効果を生み出すことが実証されています。その授業法を要約すれば、「学生にチャレンジングな課題を与え、科学者らしい推論を行うように仕向け、頻繁なフィードバックを提供する」ものです。この方法を実際の授業で推進する教育改善の担い手が、「サイエンス・エデュケーション・スペシャリスト」(Science Education Specialists: SESSs)です。

このQ&Aセッションでは、リラックスした雰囲気の中で、SESSsは、どのような研修を受けて養成され、どんな役割を担うのかについて、DBERを先導してきたカール・ワイマン教授から直接伺う機会を設けます。また、大学として全部局でSESSsを雇用できるよう資金を配分したインペリアル・カレッジ・ロンドンの取組状況を伺います。

将来大学教員をめざす大学院生・ポスドクのみならず、どのように授業改善をすれば良いか悩んでおられる教員の皆様、さらには興味をお持ちになったすべての方々、ぜひこの機会にサイエンス・エデュケーション・スペシャリストとは何かを知り、科学教育を改善する第一歩を踏み出してみませんか？

開会挨拶・趣旨説明

中村 教博 (東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授)
Professor Norihiro Nakamura, Tohoku University

話題提供①・質疑応答

サイエンス・エデュケーション・スペシャリストの役割と研修
The Training and Role of SESSs

カール・ワイマン (スタンフォード大学 教授)
Professor Carl Wieman, Stanford University

話題提供②・質疑応答

インペリアル・カレッジ・ロンドンにおける普及の取組
The Case of Imperial's Introduction of SESSs

マーティン・キングスベリー (インペリアル・カレッジ・ロンドン 教授、高等教育研究センター長)
Professor Martyn Kingsbury, Director, Centre for Higher Education Research and Scholarship, Imperial College London

全体討議

カール・ワイマン、マーティン・キングスベリー、司会：渡邊 由美子 (東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授)
Professor Carl Wieman, Professor Martyn Kingsbury Chair: Professor Yumiko Watanabe, Tohoku University

閉会挨拶

大森 不二雄 (東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授)
Professor Fujio Ohmori, Tohoku University

申込み：www.ihe.tohoku.ac.jp →「イベント申込み」へお進みください。
QRコードからも直接お申し込みいただけます。



問合せ：東北大学 高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター

TEL：022-795-4471 FAX：022-795-4749

Email：ihe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp

URL：www.ihe.tohoku.ac.jp

主催：東北大学 高度教養教育・学生支援機構



TOHOKU
UNIVERSITY